岐阜県 ジュニアアスリート育成プロジェクト

～世界や全国を目指すジュニアアスリートの発掘・育成と岐阜県のスポーツを支える人づくり～

○運動能力の優れた人材を県内のジュニア世代から発掘し、県独自の「育成プログラム」を計画的・継続的に実施することにより、それぞれの適性に応じた競技を選択できるよう支援します。
○トップアスリートを目指す中で必要な、将来設計や自己理解など、人間形成に寄与する多彩なプログラムを実施し、将来岐阜県のスポーツを支える人材の育成を目指します。

❶見つける【発掘プログラム】 ▶ ❷育てる【育成プログラム】 ▶ ❸活かす【選択プログラム】 ▶ ❹支える【特別プログラム】

月	6～9	10～12	1～3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
活動内容	応募期間	1次選考会 / 2次選考会		認定式 / 開始式 測定会	競技・共通プログラム実施期間（年間25単位程度）										トップアスリート講話 / 修了式	修了生として後輩のサポート
						Step-Upプログラム実施期間								三者面談		

❶選考会

小学４・６年生を対象に運動能力測定を実施し、
運動能力の高い選手を各２５人程度選考

令和7年度第１２期生
第1次選考会参加者　平均記録（４種目）

参加者	人数	握力	立幅	20m走	立位ステップ
小4男子	98人	18.4kg	168cm	3.84秒	51回
小4女子	55人	18.3kg	161cm	3.92秒	50回
小6男子	69人	25.7kg	193cm	3.52秒	54回
小6女子	37人	22.8kg	179cm	3.68秒	52回

この記録を参考にして、選考会にチャレンジしてみよう！

❷育成プログラム

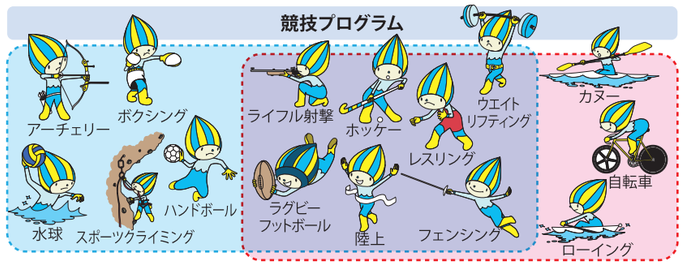
・原則、土曜日の１８時～２０時に実施（競技によって日中の開催もあり）
・会場は主に岐阜市近郊だが、競技によっては西濃地区や中濃地区で行う競技もあり

体験予定プログラム

共通プログラム

スポーツトレーニング
コーディネーション（体操）
運動能力測定会 等
スポーツリーダー論
スポーツ心理学
スポーツ医学
スポーツ生理学
スポーツ栄養学 等

競技プログラム



キッズ（小学5・6年生）※12競技
ジュニア（中学1～3年生）※10競技

Step Upプログラム

トップアスリート講話
修了生交流会
部活動見学
保護者プログラム
デュアルキャリア 等

❸ジュニアアスリート生の競技実績

令和7年度の実績（全修了生・現役生）

全国大会以上出場　109名

国際大会出場　13名

ライフル射撃、フェンシング、ホッケー、ローイング、アーチェリー
スポーツクライミング、クアッドボール

日本一獲得競技　10競技・14名

ライフル射撃、フェンシング、陸上、アーチェリー、
ウエイトリフティング、ラグビー、スポーツクライミング、空手道、
野球、テコンドー

❹修了生の関わり

ジュニア12期生副担任
鹿野（しかの）　日陽南（ひよな）さん（ジュニア１期修了生）

私はこのプロジェクトに第１期生として３年間参加していました。このプロジェクトのすばらしさは、普通では体験できない様々なスポーツを体験できることや、アスリートとして何が必要なのかをしっかり学ぶことができることです。
このプロジェクトで貴重な体験ができたからこそ、何かの形で協力したいと思い、今年度副担任として戻ってきました。一人でも多く世界で活躍できるトップアスリートになれるようサポートしたいです。

アスリート生とその保護者の感想

【アスリート生】
・様々な競技を楽しく体験する中で、**自分に適した競技に出会う**ことができた。
・当たり前だと思っていたことが、そうではないことに気づき、**感謝や挑戦**ができるようになった。

【保護者】
・プログラムの活動について、子どもと会話が弾み、**親子共に新しい一面**が見られた。
・競技だけでなく、**挨拶、積極性、仲間との関わり**など、日常での成長が感じられた。

体験会・教室の情報はこちら

https://gifu-sports.org/sports_taiken/sports_taiken.html

よくある質問

プログラムへの参加について

Q　スポーツ少年団、スポーツクラブや部活動等の活動とプログラムが重なったらどうすればよいですか？

A　今、頑張っているスポーツ少年団や部活動、その他の習い事を続けながら参加しても構いません。ただし、以下のような条件が選考基準になります。
・土曜日（原則）のプログラムを優先できること
・児童生徒の送迎は保護者が行うこと

自分に適した競技選択について

Q　自分に最適な競技はどのように見つけられますか？

A　各プログラム終了後に競技団体から評価が届き、その結果をもとにいつでも相談できます。さらに年度末には三者面談を行い、一人一人の可能性に応じた最適な競技選びをサポートします。
・プログラムの途中に競技転向することはできますが、プログラムは最後まで受講してもらいます。

推薦コメント

プロジェクト育成委員会　委員長
春日（かすが）　晃章（こうしょう）（岐阜大学教授）

本プロジェクトでは多種多様な競技を専門指導者のもとで体験することにより、各種最先端トレーニング法を学ぶことができます。また、共通プログラムの経験を通して、目標達成のために自分自身をコントロールする力や国際感覚が養われます。これらの経験は一流アスリートとしてだけでなく、心技体を伴った人間力形成に大いに役立つプロジェクトだと確信しています。我々、県内スポーツ科学専門の大学教授も一丸となってお力添え致します。

プロジェクト選考委員会　委員長
小栗（おぐり）　和雄（かずお）（岐阜聖徳学園大学教授）

岐阜県は多くのオリンピアンを輩出しています。本プロジェクトは運動能力が優れた児童を発掘し、次世代のオリンピアンを育成するものです。ここでは、優秀な指導者のもとで多競技を体験しながら自分に合った競技を見つけることができます。また、スポーツ科学の講義、トップアスリート講演会を通して、専門知識や自尊心、感謝する心などの人間力を磨くことができます。オリンピアンをめざす中で学んだことは、必ず皆さんの将来に役に立ちます。まずは選考会に参加して自分の可能性に挑戦してください。